世界冬の都市市長会広報誌

World Winter Cities Association for Mayors

2013年
11月発行

〈世界冬の都市市長会事務局〉
〒060-8611　札幌市中央区北１条西２丁目 札幌市総務局国際部内　TEL 011-211-2032　FAX 011-218-5168
e-mail：wwcam@city.sapporo.jp　URL：http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/

2014年華川市長会議に向けて

2013年8月1日と2日の2日間、札幌市において開催された世界冬の都市市長会実務者会議に、世界各地の7か国15都市から41名が参加しました。議題の中心は、2014年1月に韓国・華川（ファチョン）郡で開催される第16回市長会議の開催計画に関する協議で、同郡から詳細について発表されました。

第16回市長会議のメインテーマは、「冬の都市におけるありのままの自然と資源としての自然を保全し、それらを将来に渡って活用していける有効な方法について」です。天然資源の活用は経済や都市の発展に寄与してきましたが、同時に地球規模の気候変動による環境変化をもたらす一因にもなりました。自然を保全しながらも活用し、将来に渡ってよりよい生活環境を作り上げていくための方策について議論を行う予定です。会員都市の皆様はもちろん、関心のある皆様の積極的な参加を心からお待ちしております。参加方法などの詳細につきましては、世界冬の都市市長会事務局までお問い合わせください。

2013年実務者会議実施報告

○　会　期：2013年8月1日（木）～2日（金）
○　会　場：札幌パークホテル（札幌市）
○　参加者：7か国・15都市・41人
　（１）会員都市：7か国・13都市・38人
　　長春、ジャムス、鶏西、チチハル、瀋陽（以上、中国）、
　　ヴィームシ（エストニア）、松本、札幌（以上、日本）、
　　ウランバートル（モンゴル）、華川、麟蹄（以上、韓国）、
　　ユジノサハリンスク（ロシア）、アンカレッジ（アメリカ）
　（２）オブザーバー参加：2都市・3人
　　旭川市、岩見沢市
○　会議内容
　（１）第16回市長会議の開催計画案に関する協議（2014年1月、韓国・華川郡で開催）
　（２）活性化事業について（韓国・華川郡の取り組みを発表）
　（３）会員都市が取り組む環境保全に関する行動目標の中間報告
　（４）世界冬の都市市長会の運営に関する協議
　（５）新規入会都市「麟蹄郡」の都市紹介

札幌実務者会議

会議参加者による記念撮影

活性化事業報告

2010年ウランバートル実務者会議で承認された韓国・華川郡の「世界冬の都市市長会PRプロジェクト」について、2013年の活動報告と今後の計画について発表されました。

2013年1月に開催されたやまめ祭りでは、世界冬の都市広場に広報館を設置し、本会の活動や会員都市について紹介しました。パネルや民芸品の展示、プロモーション・ビデオ上映のほか、外国人観光客に対するお茶の提供、民族衣装の試着体験コーナー、冬の動物との記念撮影コーナーなど、見るだけではなく体験できる企画が用意されました。祭り期間中、世界冬の都市広場には華川郡内外からおよそ15,000人が訪れ、楽しみながら会員都市のことを知ることができるよい機会となりました。

会員都市の民族衣装や民芸品を展示

2014年においても、1月のやまめ祭りに併せて、本会のPRプロジェクトを実施する予定です。

環境保全に関する行動目標の中間報告

2012年1月のウランバートル市長会議で、エネルギーと熱の効率的な利用及び省エネルギーに関する市民への啓発活動について、各会員都市が可能な範囲で数値目標を設定し、目標に対する取り組みを次回市長会議で報告し合うことが決定されました。これを受けて、長春、ジャムス、マールドゥ、札幌、カウナス、華川、太白の7都市が行動目標を設定しました。各都市は行動目標の達成に向けた取り組みを進め、2013年札幌実務者会議で中間報告を行いました。今後も取り組みを進め、2014年1月の華川市長会議で最終報告を行う予定です。

☆ 各都市の行動目標（一部抜粋）

行動目標	取組状況
都市環境、インフラの整備を行い、生活環境のさらなる向上を目指す。（2015年までの目標）［中国・長春市］	対2011年比で二酸化硫黄2.4％削減、窒素酸化物1.4％削減を達成した。市内に大気汚染を観測するモニタリングステーションを3か所増設した。
風力発電の導入　870,000KW　［中国・ジャムス市］	風力発電設備能力900,000KWを達成した。
学校など市有施設における太陽光発電導入 180か所、約2,600KW　［日本・札幌市］	2013年3月末時点で、107か所、1,739KWを達成した。
ピークシーズン（6月～9月）における公共施設の電力使用を毎年5％削減する。［韓国・華川郡］	室内温度28度設定、「グリーン・タッチ」（パソコン消費電力節約プログラム）の使用などにより、対前年比で5％の削減を達成した。
2011年から2014年までの間に、新エネルギー及び再生可能エネルギーの生成量を360％増加させる。［韓国・太白市］	風力発電の増加により、2012年12月末時点で2011年比790％の増加を達成した。

環境保全小委員会報告

札幌実務者会議に併せて環境保全小委員会が開催され、同委員会の事務局都市である長春市から、同市が調査研究している「大気中の微粒子物質の発生源解析」、「融雪剤による環境被害の緩和」について報告がありました。主な内容は次のとおりです。

○ PM2.5の発生源として、風によって巻き上げられる埃、都市環境による埃、石炭燃焼による埃、キッチンダスト、道路の埃、産業活動からの埃、排気に含まれる埃、建築現場から出る埃の8種類を設定し、自動車会社、食品工場、市内公園、情報通信大学、ハイテク産業地区、長春経済・技術開発区（CETDZ）など市内10か所にPM2.5のモニタリングポイントを設置した。

○ 2013年4月から5月にかけて、自動車会社、食品工場、市内公園2か所の計4地点でPM2.5のサンプル採取を行い、現在、採取したサンプルの分析を準備しているところである。

小委員会で報告する長春市環境保護局の徐秀英副巡視員

○ 長春の地元企業2社と共同で市場調査を実施し、環境配慮型融雪剤の開発を行った。開発したのは、非塩素系融雪剤と酢酸カルシウム・マグネシウム（カルシウム・マグネシウム・アセテート）融雪剤（CMA）の2種類である。環境保護という観点で付加価値をつけ、低価格で社会的にも有益というのが開発のコンセプトである。

○ 非塩素系融雪剤は、とうもろこし加工から発生する副産物を原料にしている。

北海道大学観光学高等研究センター・池ノ上真一准教授の講演

実務者会議に併せて、観光と環境の共生をテーマに北海道大学観光学高等研究センターの池ノ上真一准教授による講演を実施しました。これは、国連登録NGOとして関係機関との連携を強める取り組みの一環により、国連世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センターからの推薦で実現したものです。

観光を活用して地域のつながりを発展させる取り組みとして、UNWTOが進める「海のシルクロード」を例に、①マーケティングとプロモーション、②能力形成と目的地としての地域のマネジメント（例えば、自然環境保全や文化の保護）、③旅行の促進（例えば、ビザの問題や国境をつなげるためのインフラ整備）、３点が重要であるとしました。さらに、他の地域との交流によって、文化が多元的であることを知り、地域の社会的なつながりを強くしていくための手段としても、観光の持つ可能性は大きいと述べました。

池ノ上准教授の講演

関連イベント紹介

世界冬の都市市長会では、今回の実務者会議の開催に併せて、会員都市や市長会の活動を紹介するイベントを開催しました。

モンゴル経済を紹介するウランバートル市のバヤルバートル戦略政策企画部長

１　世界冬の都市フェスタ2013

8月2日、札幌駅前通地下広場において会員都市の魅力を発信する都市PRプレゼンや、本会会員都市のウランバートル市及び独立行政法人国際協力機構（JICA）から講師を招き、モンゴル経済を紹介するセミナーを行いました。さらに、本会が国連経済社会理事会及び国連広報局の登録NGOであることを生かし、国連UNHCR協会などの国連関係機関を紹介するコーナーを設け、パネル展示などにより彼らの活動を伝えました。

環境広場さっぽろを視察するエストニア・ヴィームシ市市長（左）ら

２　「環境広場さっぽろ2013」への出展

8月2日から4日まで、アクセスサッポロで開催された同イベントにブース出展し、会員都市が行う環境保全の取り組みを紹介しました。また、会員都市の会議参加者は同イベントを訪れ、環境技術などの展示を興味深く視察していました。

華川市長会議概要

１　日程：2014年1月16日（木）～18日（土）

２　会場：華川体育館（韓国・華川郡）

３　メインテーマ：冬の都市におけるありのままの自然と資源としての自然を保全し、それらを将来に渡って活用していける有効な方法について

サブテーマ　：① 自然環境保護活動を通じた「冬の都市」のイメージアップ

② 資源としての自然を活用した観光コンテンツの充実と観光産業の促進

4　市長会議開催プログラム（一部変更される場合があります）：

日　程	プログラム
1月16日（木）	開会式、総会、2018年第18回市長会議開催都市の立候補プレゼンテーション及び決定 市長会議①（自然環境保護活動を通じた「冬の都市」のイメージアップ） 市長会議②（資源としての自然を活用した観光コンテンツの充実と観光産業の促進） 華川郡首主催オープニングレセプション
1月17日（金）	「環境保全小委員会」（事務局：中国・長春市）最終報告 首長によるテーマを設定した意見交換 やまめ祭り視察 世界冬の都市市長会会長主催レセプション
1月18日（土）	全体会議、閉会式、記者会見 市内視察、フェアウェルディナー

5　その他：

・会員都市以外の方もオブザーバーとして会議を傍聴することができます。オブザーバー参加の方法など詳細につきましては、世界冬の都市市長会事務局へお問い合わせください。

新規の会員都市をご紹介します

麟蹄郡

麟蹄（インジェ）郡は、韓国江原道の北東部に位置し、韓国の首都ソウルから車でおよそ1時間30分の距離にあります。韓国と北朝鮮の間にある軍事境界線の近くにあり、多くの自然が残されています。

麟蹄郡には、雪岳山（ソラクサン）国立公園や韓国で最も大きな湖である昭陽湖（ソヤンホ）という魅力的な観光地があり、多くの人々に親しまれています。さらに、ラフティングやバンジージャンプ、国際標準のレース場などさまざまな施設を有しており、麟蹄郡を訪れるたくさんの観光客が、多様なレジャースポーツを楽しんでいます。

毎年1月に開催されている「わかさぎ祭り」は、韓国を代表する冬の祭りのひとつで、国内外からおよそ80万人が訪れています。体長7センチメートルくらいのわかさぎは、白と銀色の模様があり、その美しい姿から「冬の湖の妖精」と呼ばれています。お祭りでは多彩なイベントを楽しむことができ、忘れられない思い出となるでしょう。

国際標準のレース場

多様なレジャースポーツを楽しめるのも麟蹄の魅力

麟蹄の冬の風物詩「わかさぎ祭り」

さっぽろ市
02-B02-13-1409
25-2-240